



日本プライマリ・ケア連合学会  
中部ブロック支部 活動報告

本号の編集担当者 吉岡哲也

発行人：伴 信太郎  
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65  
名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻総合  
診療医学分野 内  
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951  
E-mail:nobuban@med.nagoya-u.ac.jp  
HP:http://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/

ニュースレター No.13 (2016.3)

CONTENTS

- |   |  |
|---|--|
| 三重県：第5回 医療面接ラボ<br>第24回 三重・家庭医療学セミナー<br>第1回 IDT-MIE(多職種のチーム医療プログラム)<br>第2回 感染症講義シリーズ<br>第3回 感染症講義シリーズ<br>第4回 感染症講義シリーズ | 富山県：富山県在宅医療研修会<br>とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム<br>ポートフォリオ発表会<br>やらんまいけアサカツ!                       |
| 岐阜県：ぎふ清流の国総合診療専門研修プログラム説明会<br>総合診療専門研修プログラムを研修医と指導医で<br>考える会  | 福井県：家庭医療勉強会 ‘プロフェッショナルリズム’<br>ジュネーヴ大学家庭医学視察<br>家庭医療勉強会 ‘認知症・BPSD’<br>ポートフォリオ合宿 2016<br>勝山 IPE セミナー |
| 愛知県：『ACCEL 2015 冬』  | 石川県：能登地域総合診療強化研究会<br>平成27年度クリニカルラウンド (第6,7,8回)<br>能登地域医療セミナー冬合宿                                    |
| 静岡県：第1回静岡プライマリ・ケアフォーラム報告<br>静岡家庭医養成プログラムより  | その他：支部運営情報   |

●三重県

【報告】

1) 2015年12月9日(水) 第5回 医療面接ラボ

会場：三重大学探索医学研究棟 1F 教育センター会議室 13時00分～15時00分予定

テーマ：OSCE 直前 医療面接練習会 第2弾

2) 2015年12月14日(月) 第24回 三重・家庭医療学セミナー

会場：三重大学探索医学研究棟 2F 総合診療科・家庭医療学 医局 18時30分～(約1.5時間)

富岡 慎一 先生 産業医科大学公衆衛生学

テーマ：「日本のかかりつけ医の今後のあり方」

3) 2015年12月20日(日) 第1回 IDT-MIE(多職種のチーム医療プログラム)

会場：鈴鹿医療科学大学(白子キャンパス3号館) 10時00分～16時00分

対象：医・看・歯・薬・福祉・心理学科他に属する学生

人的を含む医療資源がどんどんと限定される今日この頃、そして数年後、多職種連携は医療の必須のコンポーネントとなると思います。三重大学、鈴鹿医療科学大学、その他、皇學館大学、三重県立看護大学、朝日大学などの学生や教員が集まって多職種連携教育の開発事業「IDT三重」が実施されました。単に他の職種を理解するのみならず、多職種チームが一丸となる方法が身につけられたと思います。



#### 4) 2015年12月22日(火) 第2回 感染症講義シリーズ

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19時00分～(約1時間程度)

谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

テーマ：「グラム染色と培養のハナシ」

#### 5) 2016年1月26日(火) 第3回 感染症講義シリーズ

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19時00分～(約1時間程度)

谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

テーマ：「肺炎」



#### 6) 2016年2月23日(火) 第4回 感染症講義シリーズ

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19時00分～(約1時間程度)

谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

テーマ：「尿路感染症」

#### 【今後の予定】

#### 1) 2016年3月22日(火)、29日(火) 第5、6回 感染症講義シリーズ

会場：三重大学探索医学研究棟2F 総合診療科・家庭医療学 医局 19時00分～(約1時間程度)

谷崎 隆太郎 先生 名張市立病院 医師、三重大学・伊賀地域医療学講座 助教

テーマ：「咽頭炎」、「髄膜炎」

### ●岐阜県

#### 【報告】

#### 1) 2016年1月11日(月・祝) 13:00～15:00

清流の国ぎふ総合診療専門研修プログラム全体会議

場所：ぎふメディアコスモス

2017年4月から始まる新たな専門医プログラムの説明会を開催しました。基幹施設が岐阜大学医学部附属病院、連携施設が岐阜県内の病院・診療所約50施設からなる岐阜県全体版の研修プログラムです。連携施設長など約60名にお集まりいただき、専門研修プログラム整備基準に沿って説明を致しました。多くの質問がありましたが、不明な点は専門医機構に問い合わせる回答をいただきました。

## 2) 2016年2月7日(日) 16:00~18:00

総合診療専門研修プログラムを研修医と指導医で考える会

場所：岐阜大学医学部附属病院

新たな総合診療研修プログラムにできるだけ多くの専攻医が参加してもらうために、プログラムにどのような工夫が必要かを話し合う会を開催しました。研修医3名と指導医5名が集まって、アイデアを出し合い、プログラム作成に何がポイントかを検討しました。

### 【予定】

## 1) 2016年3月11日(金) 20:00~22:00

第11回岐阜総合臨床医学研究会(岐阜会館)

## 2) 2016年5月27日(金) 19:00~21:30

第33回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス(岐阜会館)

## 3) 2016年9月2日(金) 19:00~21:00

第13回岐阜総合内科研究会(岐阜グランドホテル)

## 4) 2016年9月23日(金) 19:00~21:30

第34回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス(岐阜会館)

## ●愛知県

### 【報告】

## 1) 2015年12月12日(土) 14:00-18:00 『ACCEL 2015 冬』

場所：名古屋大学医学部

ACCEL (Annual Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents) は、名古屋大学総合診療科が主催する家庭医療専門医試験の受験申請に必要なポートフォリオ (PF) の作成を支援するためのミーティングです。年4回開催。

今回は参加者 29 名と過去最多を記録しました。大阪医大、府中病院、中京病院、千鳥橋病院から専攻医、指導医の先生方に参加していただきました。また本学の医学生、看護師、臨床心理師さんにも参加していただき、多職種で、盛況な会となりました。当科 高橋徳幸先生より「PF 虎の巻」のレクチャーをしていただきました。

すべての家庭医療専門医後期研修プログラムの専攻医、指導医のオープン参加を歓迎します。またプライマリケア認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新で PF 作成が必要な方も是非ご参加ください。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院総合診療科(担当：安藤友一)

E-mail : ulando@med.nagoya-u.ac.jp Tel & Fax : 052-744-2951



《今後の予定》

1) ACCEL2016

2016年3月5日(土) 13:00~16:00 (名古屋大学医学部基礎棟第1会議室)

2) 中部ブロックポータルフォーリオ発表会

2016年3月13日(日) 13:00~16:00 名古屋大学医学部鶴友会館

3) 家庭医療専攻医の集い

2016年3月13日(日) 16:00~17:40 名古屋大学医学部鶴友会館

4) きょういく×カフェ

2016年4月24日(予定) 11:00~18:00

場所: 名古屋大学医学部 鶴舞キャンパス 第2会議室

内容: 医学教育に興味のある医師・医学生を中心とした取り組みです。ワークショップで仲間とテーマを見つけてプロジェクトを組みます。その後、働きながらあるいは学校の勉強をしながらインターネットを介して仲間と繋がり学びあいます。

参加者からは、今までやっていた講義の仕方が変わって学生が聞いてくれるようになった、研修医に対する自分の対応が変わったなどの声を頂いております。

とても寛いだ会です。ぜひ気軽にお越し下さい。

●静岡県

第1回静岡プライマリ・ケアフォーラム報告

平成28年2月13日午後静岡市静岡県総合研修所「もくせい会館」にて、第1回静岡プライマリ・ケアフォーラム(第1回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)が開催されました。

講演①は、聖路加国際病院岸本暢将先生による「総合診療のためのリウマチ性疾患の診かた“ハンズオン”」で、私たちが日常遭遇する主に関節リウマチと紛らわしい疾患の鑑別診断や関節所見のとりかたなど講義と実習を行いました。

講演②は、浜松医科大学・静岡家庭医養成プログラム井上真智子先生による「保健医療2035から考えるこれからのプライマリ・ケア」で、「保健医療2035」の策定に加わった井上先生からその解説とプライマリ・ケアの役割・課題について、ご講演いただきました。近年2025年問題、地域包括ケアシステムが話題になり、次期診療報酬改定の概要が発表された直後というタイミングも加わり、参加者からの活発な意見交換が行われました。

最後に30分ほど地方会会員総会、会員交流会を行い、最近の後期研修プログラムの変更の話題、認定薬剤師・看護師などの動向、地域医師会の取り組み、静岡支部地方会の課題、会則について話し合いました。限られた時間となり、司会の私の強引な仕切りがあったかと思いましたが、現在の私たちをとりまく環境の把握、確認の場にはなったと思います。

46名の参加者(医師37名、薬剤師3名、看護師2名、事務4名)で会場は一杯になり、2次会も25名の参加者で、一晩でチーム静岡が結成されたような会となりました。

この場をお借りして、講師の先生、参加者の皆様に感謝いたします。参加ができなかった皆様含めて、静岡を盛り上げていきましょう。





## その他の話題

### 静岡家庭医養成プログラムより

#### 【報告】

#### 12月5日 静岡家庭医養成プログラム学生ワークショップ 18名

医学生、近隣の診療所の先生など18名に参加していただきました。

ワークショップは、SFMレジデントと浜松医科大学の学生と合同で企画。今回は「お母さん、元気ですか？」をテーマに、中高年齢女性の患者を例とし、臨床推論、BPSモデル、ヘルスマネジメントという3つの家庭医療的なアプローチを、グループディスカッション、模擬問診を通して体験していただきました。

ワークショップの終了後は、懇親会。ワークショップだけでは語り切れない家庭医療の面白さを皆で共有する時間となりました。



#### 1月16日 ティム C. ガターマン博士、マイク・フェターズ教授によるリサーチ・ワークショップ 24名

##### 「混合研究方法を用いた事例研究の進め方」

- ・事例研究の「事例」をどのように定義するかを理解する
- ・混合研究方法を用いた事例研究の特徴を理解する
- ・混合研究方法を用いた事例研究に適した事例を選ぶ
- ・混合研究方法を用いた事例研究のための質的および量的データの収集源を特定する
- ・混合研究方法を用いた事例研究実施のためのデザインを考案する



**2月4日 高齢者医療と行動変容 大塚亮平先生 23名**

「モチベーショナルインタビューング」ワークショップを開催

2月4日、米国で家庭医療専門医、老年医学専門医としてご活躍しておられる大塚亮平先生をお招きしてワークショップを開催しました。

ワークショップは、「モチベーショナルインタビューング」というテーマで行われ、医師のほか看護師等も参加し、患者さんをやる気にさせる話し方、伝え方など、患者指導に非常に有効な方法をワークショップ形式で学びました。



**【予定】**

3月2日 英語診察WS@浜松医科大学

3月3日 フェターズ先生、スカイ先生による多職種GR ワールドカフェ  
「リーダーシップとチームビルディング」

3月5日 静岡家庭医養成プログラム 指導医養成 (FD) ワorkshop  
(家庭医療現場で核となる臨床能力と評価法) ~Mini-CEX を用いた評価~  
Eric P. Skye, MD (ミシガン大学家庭医療学講座)  
Michael D. Feters, MD, MPH, MA

5月28日 静岡家庭医養成プログラム研修医WS①2016

7月30日 静岡家庭医養成プログラム研修医WS②2016



静岡県立総合病院より

第10回 慢性期医療を考える会

2016年2月10日(水) 19:00～

場所：もくせい会館(静岡市葵区)

静岡市近隣の医療・介護・福祉関係者の合同勉強会として、年2回開催しているものです。

第10回となる今回は、一般演題として磯貝美佳先生(JA厚生連静岡厚生病院居宅介護支援事業所)から「在宅介護のだいじなこと」、柿宇土敦子先生(静岡赤十字病院看護部)から「在宅フットケアの継続に繋げる自施設内の訪問看護師との連携」の2題、特別講演では高山義浩先生(沖縄県立中部病院感染症内科)をお招きして「地域包括ケアと連携する病院医療へ」と題してご講演を頂きました。

出席者は医師、看護師、ケアマネジャー、MSWなどを中心に106名で、どの講演も熱い議論が交わされました。

## ●富山県

### 【報告】

#### 1) 2016年1月16日 富山県在宅医療研修会「在宅医療におけるリスク管理と多職種連携」

会場：富山医療福祉専門学校

講師：小浦友行(富山大学医学部 富山プライマリ・ケア講座)

富山県のセラピスト向け在宅医療研修会。バイタルサイン観察のシミュレーショントレーニングと、急変時の対応についてのリハビリ専門職同士のグループディスカッションを行った。



#### 2) 2016年1月23日 とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

会場：いこいの村 磯波風

講師：福島県立医科大学 菅家智史先生

専攻医のポートフォリオ発表を普段の勉強会の形式で行った。福島県立医科大学の菅家智史先生にお越しいただき、家族志向型ケアのワークショップを行っていただいた。富山県内だけでなく、新潟、石川、長野からの参加者もあり、近隣の病院・プログラム同士の交流を深める機会となった。



### 3) やらんまいけアサカツ! (学生向け家庭医療勉強会)

日時: 2015年12月9日、16日、2016年1月6日、13日、27日、2月3日 朝8:00-8:30

会場: 富山大学杉谷キャンパス

講師: 小浦友行、三浦太郎 (富山大学医学部 富山プライマリ・ケア講座)

プライマリ・ケアに興味をもつ学生のための勉強会を水曜日の朝に開催した。

目標: バイタルサインで待てる状況か否かを判断できるようになる

SQから鑑別診断を挙げ、攻める問診ができるようになる



#### 【予定】

##### 1) 2016年3月26日(土)

###### 越中五箇山 EBM WORK SHOP

テーマ: 臨床現場での二次資料の効率のよい使い方/診断で使う EBM

講師: 南郷栄秀先生 (東京北医療センター)

※定員に達したため、申し込み締め切り済となっています

##### 2) 2016年6月25日(土)

とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

会場: 富山大学附属病院



●福井県

【報告】

1) 12/16 家庭医療勉強会 ‘プロフェッショナリズム’ 楠川先生 参加者 約 10 名

今回は機器の問題で、TV カンファレンスで中継はしませんでした。大学スタッフ、後期研修医間で大いに盛り上がりました。

2) 1/18-1/24 ジュネーブ大学家庭医学視察

日本同様、スイスも高齢化が深刻な問題である。今回ジュネーブ大学医学部家庭医療学の先生方と「家庭医医療における教育」に関して意見交換を行った。「卒前教育の重要性」と「アップデート」であった。医学部 1 年生から家庭医医療に触れ、早期に家庭医の魅力・やりがいに触れる取り組みがなされていた。さらに地域医療に従事する医療者の「知識・技術のアップデート」があり、定期的に研修医や指導医の勉強会を行い、アップデートを行っていた。今回学んだ事を参考に地域で連携・連絡を取りながら人材育成に取り組んでいきたい。

福井大学 総合診療部 小淵岳恒、林寛之、福井県立病院 前田重信



ジュネーブ大学 家庭医医療学の先生方と

3) 1/27 家庭医療勉強会 ‘認知症・BPSD’ 許先生 参加者 約 20 名

TV カンファレンスを繋いで discussion をしながら行いました。非薬物療法について考えさせられました。

4) 2/10-2/11 ポートフォリオ合宿 2016

たけくらべという温泉地でお酒も多少入り、親睦を深めながら行いました。どうしても県内の後期研修医はポートフォリオに対して馴染みが少なく、尻込みしてしまうので、合宿とめいって行ったところ、意外にすんなりと入ってきた気がしました。手作り感のある BEST ポートフォリオ賞も良かったです。これからのポートフォリオ作成や後期研修に役立てそうです。



## 5) 2/14 勝山 IPE セミナー

医師、看護師、保健師、薬剤師、ケアマネージャー、栄養士、民生委員など、総勢 50 名以上が集まりました。在宅看取りと緩和ケアというテーマで末期がん患者を多職種で支えるためにグループワークを行いました。



1 月より大学のある、永平寺町の各地区でタウンミーティングを行っています。

それぞれの地区でかかりつけ医ってどんな存在なのか、どうしていったらいいのかなどについて discussion していく予定です。

## ●石川県

### 【報告】

#### 1) 能登地域総合診療強化研究会 平成 27 年度クリニカルラウンド

##### 第 6 回クリニカルラウンド

テーマ プロフェッショナルリズム～Lewy 小体型認知症診断後のマネージメントに苦慮した一例～

講師 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター  
吉岡哲也先生、宮坂 麻由子先生、Bailey 先生

日時 平成 27 年 12 月 17 日(木)19:00～20:00

場所 公立宇出津総合病院 会議室 参加者 28 名

内容 症例検討、ディスカッションとレクチャー

##### 第 7 回クリニカルラウンド

テーマ 家族アプローチ～Home or Nursing Home～

講師 恵寿総合病院 家族みんなの医療センター  
吉岡哲也先生、伊達岡 要先生

日時 平成 28 年 1 月 21 日(木)19:00～20:00

場所 市立輪島病院 会議室 参加者 26 名

内容 症例検討、ディスカッションとレクチャー

##### 第 8 回クリニカルラウンド

講師 珠洲市総合病院

小泉 順二先生、出島 彰宏先生

日時 平成 27 年 11 月 21 日(土)16:00～19:00

場所 珠洲市総合病院 会議室 参加者名

内容 症例検討、ディスカッションとレクチャー



## 2) 能登地域医療セミナー冬合宿

### 能登地域医療セミナー冬合宿 ～多科・多職種で診る産婦人科診療～

日時 平成28年2月20日(土) 17時から21日(日) 12時まで

場所 和倉温泉「日本の宿 のと楽」(石川県七尾市石崎町香島)

参加 医師、看護師、助産師、管理栄養士、医学生など30名

1日目 20日(土) 17時から19時30分

座長 新井 隆成先生(恵寿総合病院 家族みんなの医療センター長)

演題1「婦人科感染症」

講師 橋口 幹夫先生(沖縄県立中部病院 総合周産期母子医療センター 医療部長)

講演2「総合診療医による産婦人科診療の実際と可能性」

講師 吉岡 哲也先生(恵寿ローレルクリニック 院長)

懇親会～語り合おう、産婦人科診療の垣根について～

2日目 21日(日) 9時から12時

座長 新井 隆成先生(恵寿総合病院 家族みんなの医療センター長)

演題3「妊娠糖尿病」

講師 安日 一郎先生(国立病院機構 長崎医療センター 産婦人科部長)

演題4「大学病院における助産師主導型の妊娠・分娩管理について」

講師 平田 修司先生(山梨大学医学部産婦人科 教授、山梨大学医学部附属病院 副病院長)



#### <支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です  
三重県；竹村洋典、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；伴信太郎、福井県；林寛之、静岡県；北西史直
- 中部地区のプログラム責任者の会世話人；吉岡哲也(恵寿ローレルクリニック)
- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。  
中部ブロック支部事務局；木村悦子 e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp